精神科（児童精神医学） 研修登録医プログラム

内容：

主に専門外来診療プログラム（児童精神医学）に沿って、実際の診療の見学及び実習

背景:

千葉大学医学部附属病院こどものこころ診療部は、1969 年より精神神経科に専門外来として設立し、その歴史は長い。2003 年に中央診療部門として「こどものこころ診療部」が設立されたが、当然ながら児童思春期精神医学は成人精神医学と連続性を持つものであり、「目の前の患者さんに最善の医療を提供し、将来はさらに良い医療が提供できるよう努力する。」を理念とする千葉大学精神神経科･こどものこころ診療部は、ひとつのチームとして一丸となり、年齢に関わらずどのような疾患に対しても最善の医療を提供するように努めている。

このため当教室における児童精神医学の臨床研修登録医プログラムとしては、登録医が児童、成人の精神医療を並行して研修を行える体制が背景にあることを基本としている。

児童精神科で取り扱う疾患や問題の領域は幅広く、身体表現性障害や不安障害、気分障害、統合失調症の治療のほか、精神発達遅滞、自閉スペクトラム症、注意欠如多動症の診断・治療、療育相談、また重篤な疾患で小児科へ入院している児へのメンタルサポート、不登校や虐待の問題への対処を行い、よりよい治療のために研究を進める。また、児童思春期を対象とする場合には心理発達検査の理解が重要であることから、それら検査について学ぶ。さらに小児領域における薬物療法を学ぶほか、遊戯療法などの精神療法を学ぶ。また児童の不安障害、気分障害の治療には、欧米では薬物療法よりも認知行動療法が推奨されているが、日本国内での普及は乏しい。しかし当教室ではそれをいち早く取り入れ、日本の児童に則した方法に修正しながら、その技法を習得し、それらを普及させていくことを目指している。

研修プログラム責任者、連絡担当者：

研修プログラム責任者：竹内啓善

連絡担当者：島田侑佳　電話：043－222-7171　E-mail: shimada.yuka@chiba-u.jp

研修指導医：

竹内啓善　：教授、臨床精神神経薬理学、リエゾン精神医学

早津龍之介　：特任助教、児童精神医学

プログラム日程：

児童精神医学専門外来研修日：火曜日、木曜日